あそこのあのこのあのころのこと
あのことあそんだらいかん
あそこにいったらいかん
（なんでダメ　きいてもダメ）
あそこのあのこ　タンジョウカイによんだらいかん
あそこのあのことうちのこちがう
（なにがちがう　なにもちがわない）
（あそこのあのこは泣いている）
見て見ぬふりしなさい　そしたら　いつか気にならなくなる
あそこのあのことつきあうな　かかわるな

（そんなことというのはだれ　いつから）
みんながいってる　むかしからいわれている
（みんなってだれ　むかしからっていつ）
そんなことしらなくていい　大人になればあなたにも分かる

（・・・大人になったころ　あのときのあそこのあの子はかわいそうと思った
・・・同和問題に学んだ今、「かわいそうと思った」自分がはずかしい
・・・あそこのあの子たちと　共に生きる　大人であありたい）
（大人になった今　あのときのあそこのあの子の涙は差別された悲しみだと分かった
・・・今も分からないのは　なぜ差別されるのか・・・ではない・・・
「なぜ人は差別するのか」ということ）

